

いさおだより

10月号

平成25年10月1日

和歌山市立有功小学校

秋の虫が美しい声を響かせています。朝夕の涼しさに秋の訪れを感じる今日この頃です。5年生が植えた田んぼの稲刈りもうすぐです。重そうに頭を垂れる稲穂が稔りの秋の到来を告げています。



さて、学校では、厳しい残暑の中、運動会をめざして、日頃の学習の成果をもとに練習を積み重ねてきました。運動会を行うにあたっては、

- ・自分のベストを尽くして頑張ることに喜びと満足感をもたせること
- ・みんな仲良く励まし合い協力し合って、心に残る運動会にすること等のめあてをもって取り組むことを大切にしながら指導してきました。

子どもたちは一人一人の顔や性格が違うように、走る力や走り方にも個人差があります。ダンスについてもリズム感豊かな子もいれば、不得意な子もいます。運動は苦手だけれど字を書くのは得意な子、絵を描くのが得意な子…それぞれの個性も様々です。また、集団の中に入りにくくそのときの状況になかなか馴染めない子もいます。練習でやっとなできるようになってきたのに、運動会といういつもと違う雰囲気の中では緊張して思うようにいかなかった子もいたかも知れません。私たちは、子どもたちが「苦手なことや困難をのりこえて持てる力を向上させようと、ひたむきに努力している姿」、「ころんでも自分で立ち上がり、ゴールを目指して最後まで頑張って走り続ける姿」等をこの上もなく大切にしたいと思っていますし、そのことを範としてより素晴らしい学校にしていきたいとも考えています。人の失敗を笑ったり、見下げたりする態度は、子どもの人格形成に悪影響を与えるということは今更いうまでもありません。

例年になく厳しかった残暑にも負けず、痛い・重い・辛い練習に汗に流してがんばった練習の成果が、好天の下、見事に花開きました。子どもたちのがんばりに温かい声援をいただき、誇らしそうな顔・顔・顔。保護者のみなさん、地域の皆様のご協力をいただきましたお陰で素晴らしい運動会を開催することができました。ありがとうございました。この成果を次の学習に活かしてまいります。次の子ども達の頑張りに、どうぞご支援とご協力をお願いします。

